

市場動向（2018年10月）



米国経済は引き続き堅調

直近のFRB（米連邦準備制度理事会）の見通しでは、米国経済は2019年も堅調で、同年上半期については、失業率は低水準で推移し、インフレ率にも大きな変化は見られないと予想されています。

これらの見通しは、更なる利上げの材料になると考えられます。



株式をやや選好

今後12カ月間では、市場によって株価の動向は異なる展開になると予想しています。そのような中、私たちは、日本、アジア、新興国の株式を選好しています。

米国あるいはグローバルで 目先の景気後退の可能性は低いと考えられる

2018年のグローバルのGDP成長率は、概ね前年と同様のペースで推移していますが、2012年以降では最も堅調な数値となっています。

多少の逆風はあると予想されるものの、2019年も堅調な経済成長や企業業績の拡大が続くことが期待されます。



グローバル株式市場は、米国金利の上昇やマクロ経済の悪材料などを背景に10月の初旬に急落する展開となりました。

私たちは2019年を迎えるにあたり、市場は今後、「米国の通商政策の行方」、「原油価格の動向」、「金利動向」の3つのテーマに注目していくと見ています。

市場の変動性が高まる状況は続く予想されるものの、多くの悪材料は既に織り込まれており、またいくつかの良好なファンダメンタルズは引き続き株価の支援材料になると見ています。加えて、一部下方修正は見られますが、グローバルの企業業績は良好です。したがって、選別的な銘柄選択を行った株式および債券については、2019年にかけても楽観的な見通しを持っています。



ジェフ・ルイス
シニア・ストラテジスト
マニユライフ・アセット・マネジメント

※マニユライフ・アセット・マネジメントは、カナダのグローバル金融サービス企業であるマニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションの資産運用ビジネス部門です。

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があり、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会